





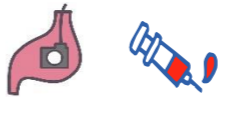








入院診療計画書

傷病名：食道・胃静脈瘤

【氏名】 \_\_\_\_\_ 様 西・東病棟 階 A・B 号室

症 状： \_\_\_\_\_

治療法：内視鏡的硬化療法

経過	入院当日	翌日	3日目	4～6日目	治療翌日	7～9日目	治療翌日	退院日
目標	腹痛や吐き気などの症状なく経過できることを目標とします。	食事を始めて再出血がないことを目標とします。						退院後に安心して過ごせることを目標とします。
検査	 血液検査, レントゲン検査, 心電図検査, 硬化療法を行ってから入院となります。	 レントゲン検査 血液検査をします。		 硬化療法 血液検査をします。	 レントゲン検査, 血液検査をします。	 硬化療法 血液検査をします。	 レントゲン検査 血液検査をします。	
点滴	点滴と抗生物質の投与を行います。 必要に応じて血液製剤(ハプトグロビン)を使用します。							点滴を中止します。
内服	潰瘍のお薬と水薬がです。		→	→				退院時処方をお渡しします。
食事	 夕食より重湯を始めて徐々に粥にします。	治療日の朝食はありません 昼より重湯を始めて徐々に粥にします。			治療日の朝食はありません 昼より重湯を始めて徐々に粥にします。			
安静度	  硬化療法後3時間はベッド上安静、以後当日はトイレのみ歩行可です。それ以外は院内歩行可能です。							
清潔	 シャワー、もしくは経過が良ければ入浴ができます。入浴できない場合は、タオルでお体をお拭きします。							
説明・指導	主治医が病状と治療法の説明をします。看護師が入院の説明をします。血圧・脈拍・体温を測定します。症状の有無をお聞きします。	血圧・脈拍・体温を測定します。 黒色便の有無や症状に変化がないかをお聞きします。腹痛や吐き気がある場合は我慢せずお知らせください。						 病状と退院後の計画を説明します。

特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無  
在宅復帰支援計画 無 ・ 有 ( )  
総合的な機能評価 無 ・ 有 ( )

年 月 日

岩手医科大学附属病院 救急科病棟

主治医氏名: \_\_\_\_\_

担当以外の担当者: \_\_\_\_\_

在宅復帰支援担当者: \_\_\_\_\_

本人・家族氏名: \_\_\_\_\_

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。